

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《英語》

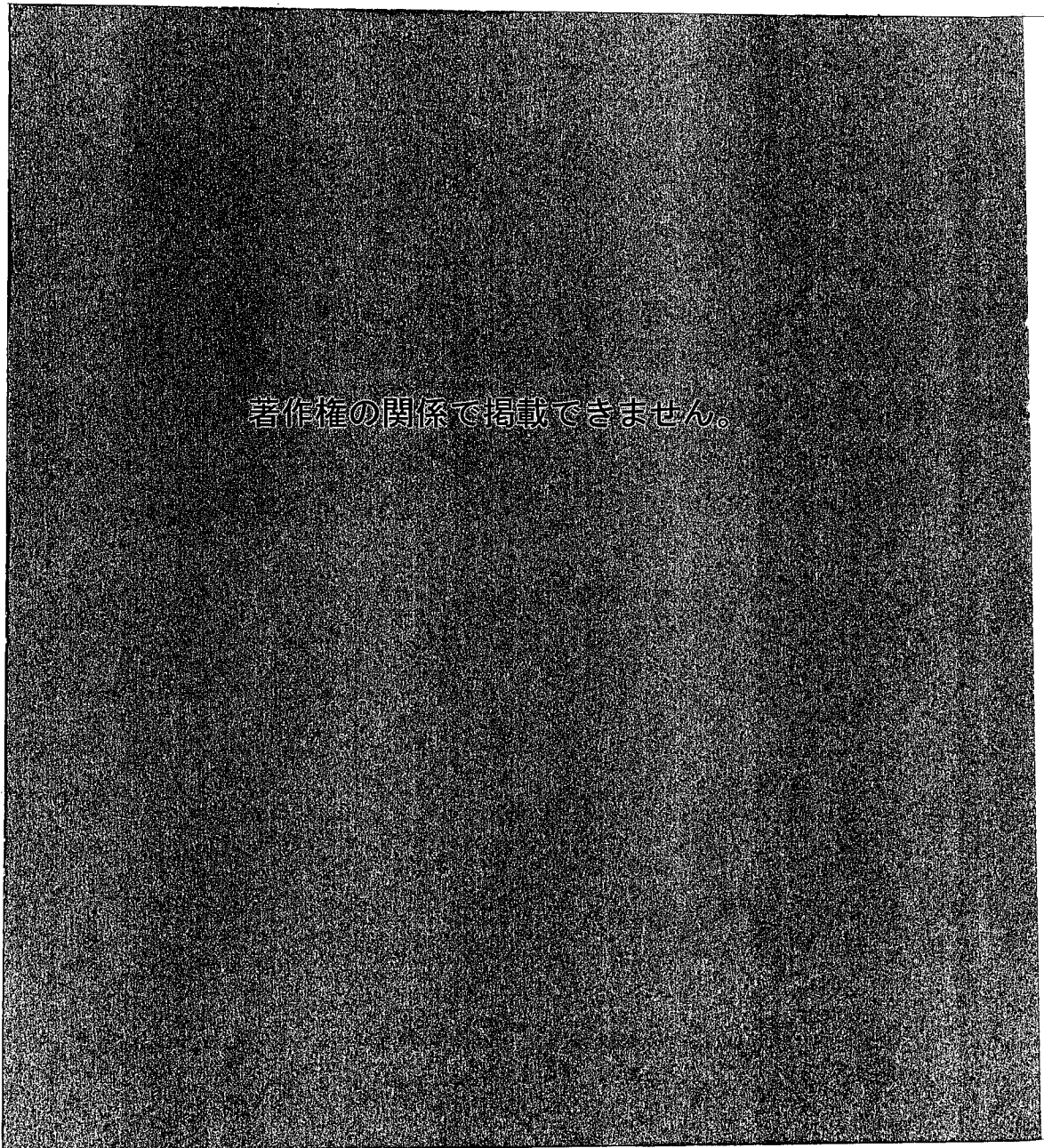
博士前期課程
英文学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(2 - /)

《解答別紙》《辞書使用不可》

1. 次の問題文を読み、(1)と(2)の問いに答えなさい。



Adapted from: Lehrer, Jonah. *Imagine: How Creativity Works*. Houghton Mifflin Harcourt, 2012.

- (1) 問題文を100字前後の和文で要約しなさい。
(2) 問題文の内容についてあなたの意見を15行程度の英語で述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《英語》

博士前期課程
英文学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(2-2)

《解答別紙》《辞書使用不可》

II. 次の問題文を読み、(1)と(2)の問いに答えなさい。

近年進むマルクス再解釈の鍵となる概念のひとつが、〈コモン〉、あるいは〈共〉と呼ばれる考えだ。〈コモン〉とは、社会的に人々に共有され、管理されるべき富のことを指す。20世紀の最後の年にアントニオ・ネグリとマイケル・ハートというふたりのマルクス主義者が、共著『〈帝国〉』のなかで提起して、一躍有名になった概念である。

〈コモン〉は、アメリカ型新自由主義とソ連型国有化の両方に対峙する「第三の道」を切り拓く鍵だといっている。つまり、市場原理主義のように、あらゆるものを商品化するのではなく、かといって、ソ連型社会主義のようにあらゆるものの国有化を目指すでもない。第三の道としての〈コモン〉は、水や電力、住居、医療、教育といったものを公共財として、自分たちで民主主義的に管理することを目指す。

より一般的に馴染みがある概念としては、ひとまず、宇沢弘文の「社会的共通資本」を思い浮かべてもらってもいい。つまり、(a)人々が「豊かな社会」で暮らし、繁栄するためには、一定の条件が満たされなくてはならない。そうした条件が、水や土壌のような自然環境、電力や交通機関といった社会的インフラ、教育や医療といった社会制度である。これらを、社会全体にとっての共有財産として、国家のルールや市場的基準に任せずに、社会的に管理・運営していこうと宇沢は考えたのである。〈コモン〉の発想も同じだ。

ただし、「社会的共通資本」と比較すると、〈コモン〉は専門家任せではなく、市民が民主的・水平的に共同管理に参加することを重視する。そして、最終的には、この〈コモン〉の領域をどんどん拡張していくことで、資本主義の超克を目指すという決定的な違いがある。

実は、マルクスにとっても、「コミュニズム」とは、ソ連のような一党独裁と国営化の体制を指すものではなかった。彼にとっての「コミュニズム」とは、生産者たちが生産手段を〈コモン〉として、共同で管理・運営する社会のことだったのだ。

さらに、(b)マルクスは、人々が生産手段だけでなく地球をも〈コモン〉(common)として管理する社会を、コミュニズム(communism)として、構想していたのである。

斎藤幸平『人新世の「資本論」』（集英社新書、2020年）
一部改変あり

- (1) 下線部 (a) と (b) を英文に訳しなさい。
- (2) 全文の内容を6～7行の英文に要約しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

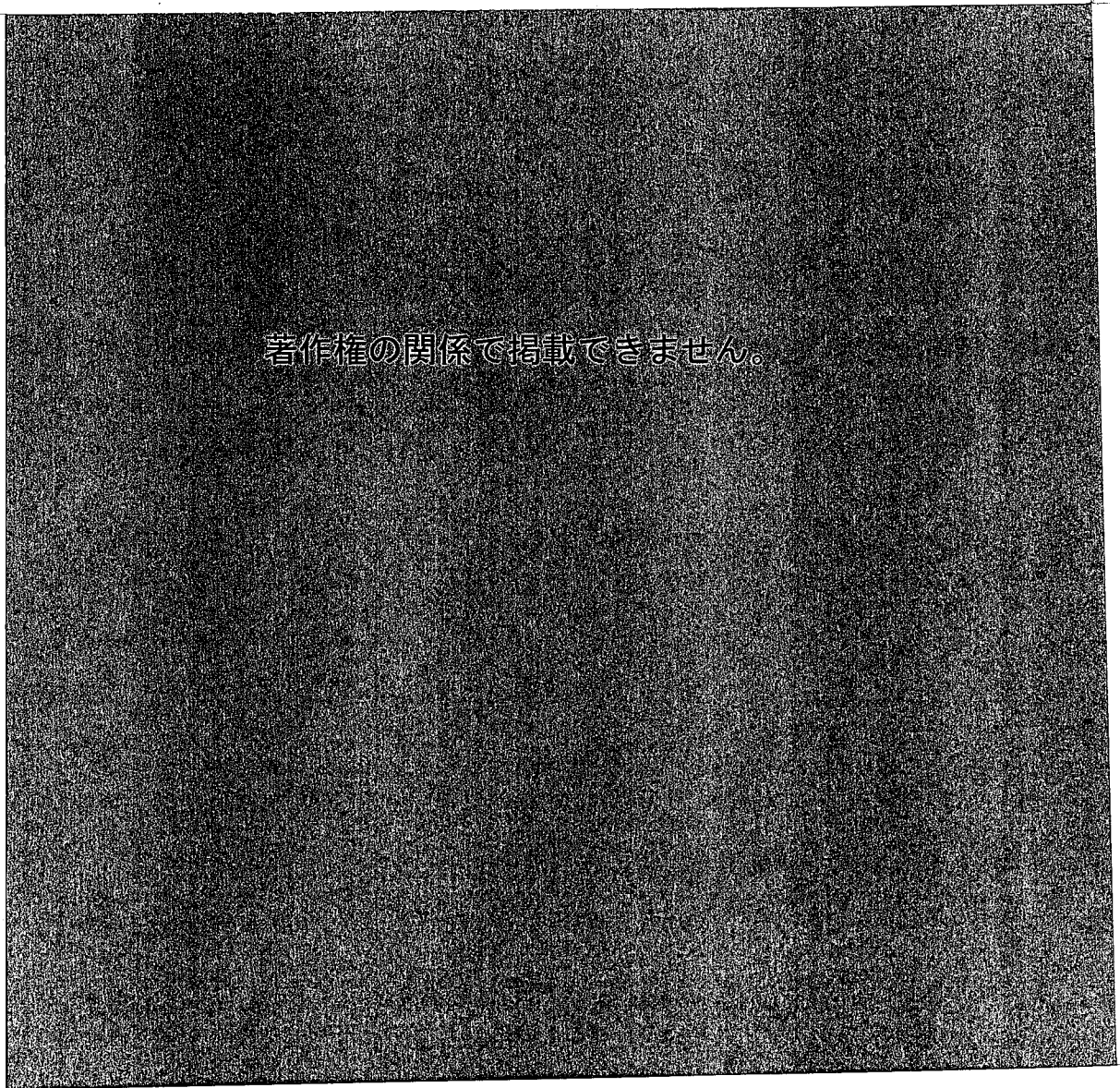
博士前期課程
英文学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(2 - 1)

《解答別紙》《辞書使用不可》

1. 次の問題文を読み、(1)と(2)の問いに答えなさい。



Tatsuki, D. (2006) "What is Authenticity?" Authentic Communication: Proceedings of the 5th Annual JALT Pan-SIG Conference. May 13-14, 2006. Shizuoka, Japan: Tokai University College of Marine Science. (pp. 1-15).
(一部改変あり)

- (1) 問題文を100字前後の和文で要約しなさい。
- (2) 問題文の内容についてあなたの意見を15行程度の英語で述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
英文学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(2 - 2)

《解答別紙》《辞書使用不可》

II. 次の問題文を読み、(1) と (2) の問いに答えなさい。

一体、人間にとって笑いとは何なのだろうか？ 生きる上で、笑うということはどのような意味を持っているのだろうか？ 笑っている時に、人間の脳の中では何が起きているのか？ そのような問題に、ずっと関心を抱いてきたのである。

(a) 笑いとは、決して気楽なものではない。時にそれは、生きるということの切なさ、難しさと結びついている。恐怖や不安が笑いの背景にあることも多い。イギリスのコメディでは、社会に対する風刺が笑いの原動力になっている。

その一方で、笑いのプロフェッショナルたちは、単なる批判では笑いにならないことも知っている。あくまでも、目的が「笑う」ことだとすれば、その大目標を達成するためには、絶妙なバランスと、繊細な文脈の設定が必要となるのだ。

笑いのためには、時には身を捨てることも必要である。自分の欠点、ダメなところを客観的に見ることができるか。そのような「メタ認知」の能力が、笑いには欠かせない。ある人が、自分の欠点を懸命に隠そうとすると、周囲の人たちはかえってそのことが気になって仕方がなくなるのである。自分の一番痛いポイントを、人前でユーモアをもって話すことができる人は、それだけ自分自身から解放されている。

「ある人の価値は、何よりも、自分自身からどれくらい解放されているかということを決まる」。

相対性理論を創った天才物理学者、アルベルト・アインシュタインはそうに言った。そのアインシュタインは、生涯にわたってユーモアのセンスを忘れなかった人だった。そのことと、アインシュタインが相対性理論という革命を成し遂げたことは関係しているかもしれない。

自分自身をメタ認知して、苦しいことを笑いに転化することができれば、それだけ生きる上での前向きのエネルギーを得ることができる。また、自分の欠点をしっかりと見据えることで、その改善を図ることができる。欠点を隠して、うやむやにしまったり、実際以上に自分を大きく見せようとしたりするよりは、はるかに素晴らしい人生を送ることができる。

「笑い」は、人生の階段を上るための支点である。生きる以上、どんな人にも苦難は訪れる。しかし、笑いがあれば、逃れようがないように見える泥沼からも、ずっと身体を浮かび上がらせることができる。笑いは、人と人とのコミュニケーションを円滑にする。ざらざらとした非難の代わりに、愛のあるツッコミをやりとりすることができる。(b) 笑いがあれば、経済や社会の状況がどんなに悪くなっても、なおも前向きの気持ちを忘れずに、日々を生きることができる。

茂木健一郎『笑う脳』（アスキー・メディアワークス、2009年）

- (1) 下線部 (a) と (b) を英文に訳しなさい。
- (2) 全文の内容を6～7行の英文に要約しなさい。